

登録コード	MA744100	開講年度	2026			
授業科目名	精神看護学特論				担当教員	下里 誠二 他
英文授業名	Special Lectures in Psychiatric and Mental Health Nursing				副担当	五十嵐 久人・木下 愛未
単位数	2	講義期間	前期	曜日・時限	月曜・1時限 月曜・6時限	対象専攻 / 学年
講義室			授業形態	講義	授業科目区分	選択科目
信大コンピテンシー	該当					
(1)授業の達成目標	【ディプロマ・ポリシー】授業で得られる「学位授与の方針」要素					
	MS26カリ(保健学), MS25カリ(保健学), MS24カリ(保健学), MS23カリ(保健学)					
	【研究科共通】医学系諸科学における学識と情報収集能力・分析能力、研究技術を備えており、共同もしくは単独で、それぞれの分野における諸課題を解決できる。				精神看護学における課題をエビデンスをもとに分析し、解決する方法を提示できる	
	【保健学】高い倫理観と専門的知識や技術、科学的根拠に基づく臨床問題解決能力などの高度な実践能力を有する。				精神看護学における倫理的問題について研究により知見をまとめ、実践へ解決法を提示できる	
	【保健学】保健・医療・福祉の実践現場で他の分野と連携して新たな保健医療改革に貢献できる能力を有する。				精神看護学における医療改革についての知見をまとめ新たな方法を提示できる	
(2)授業の概要	精神保健医療福祉の動向について検討しつつ、対象者、家族および集団に対して、当事者の人格を尊重する精神看護学の基礎的な諸理論や知識を用いた看護介入方法または、治療的介入方法を探究します。また、精神障害者の人権を擁護するための倫理的問題について探求します。					
(3)達成目標（一般学習目標GIO）	精神看護に関するケアの質の向上を目指し、優れた情報収集能力、分析能力、実践能力並びに研究能力の素地を養います。					
(4)達成目標（個別行動目標SBOs）	1.精神看護学の治療的介入の理論について述べることができる。 2.精神保健上の様々な健康問題についての支援方法について理解し実践できる。 3.精神障がい者に対する権利擁護の方法について理解することができる。					
(5)授業計画	開催日時は受講生と相談の上決定します 第1回 オリエンテーション 下里・木下 第2-8回 精神科における治療的介入下里・木下 第9-10回 精神医療と人権擁護下里・木下・五十嵐 第11-15回 地域精神医療と支援方法下里・木下					
(6)授業の進め方	毎回 講義（40分）、発表（20分）、討論（30分）として進めます。状況によりオンラインとなる場合があります。					
(7)履修上の注意・事前事後学習の内容	毎回提示します。事前学習についてはその回の課題テーマの予習、事後学習については課題についての質問、意見に対する回答の作成とし次回開催時にプレゼンします。：					
(8)成績評価の方法	プレゼンテーション（80%）、ディスカッション(20%)としそれぞれの内容により評価します					
(9)成績評価の基準	レポート、プレゼンテーションに関しては (1)問題の設定が適切であり、(2)その問題の背景を説明でき、(3)その問題にある課題を 指摘でき、(4)課題に対して既存の学術的知見を十分に検討でき、(5)そのうえで自分の見 解を論理的に説明できており、さらに教員を感心させるレベルにあれば「卓越している」、5項目を満たしていれば「かなり上にある」、4項目を満たしていれば「やや上にある」、3項目を満たしていれば「水準にある」と評価します 判定基準は90-100点（秀）、80-89点（優）、70-79点（良）、60-69点（可）、60点未満（不可）とします。					
(10)学生へのメッセージ並びに質問、相談への対応	随時相談に応じます。学部実習等により在室時間が一定しないため、事前にメールでご連絡の上研究室に来てください。 下里研究室：保健学科中校舎4階 メール：sshimos@shinshu-u.ac.jp 木下研究室：保健学科中校舎3階 ：akinoshi@shinshu-u.ac.jp 五十嵐研究室：中校舎4階 ：higara@shinshu-u.ac.jp					
【テキスト，教材，参考書】	適宜，紹介します。					